

---

# フェアリーテイル《最響伝説》

S o u L

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

フュアリーテイル 『最響伝説』

### 【著者名】

Soul

### 【あらすじ】

NZコード

N3596M

生まれ持った才能

天才魔導士マリカ

生まれ持つた良い環境

そんなマリカが向かつたのは

魔導士ギルド『フェアリーテイル』

## 第1話『フェアリー・テイル』

今ここに…新たな伝説が始まる…。

マリカ side

今日、おじいちゃんが話をつけてくれた、憧れの魔導士ギルド『フェアリー・テイル（妖精の尻尾）』に行ける。

私は炎と氷の造形魔導士。

炎と氷と、2つを得意とするのは珍しいらしい。

「ついたー。」

重い荷物を両手に、ギルドの前に立つ。

「…………ん？誰かしら。ギルドの前に…。」

「おーーー新しい仲間かーー？」

「…え？」

そこにいたのはサーモンピンクの色をした髪にノースリーブとマフラーといった季節が「じつちやになつたやつと

セミロングのクリーム色に近い金髪にナイスバディな女の子。  
それになぜか上半身裸のちょっと格好いい人と

紅いロングの髪に鎧をきた女人人がいた。

「あ。あと、羽（？）が付いた……猫？」

「誰だ？お前。新しいやつか？」

鎧女（失礼だ。）が近づいてきた。なにげにこわい。

「え…。あ。はいっ。マリカって言います。」

するとサーモンピンクを（ちょっと）始めとする4人と1匹が自己紹介をした。

「へえ。お前マリカってゆうのか…。俺ナツー！」

「俺はグレイ。」

「私はエルザだ。」

「それで、私はルーシィだよ。最後にハッピー。」

「あい！…」

サーモンピンクがナツで上半身裸がグレイ。

鎧女がエルザで、ナイスバディな可愛い女の子がルーシィね。（真

島ヒロ先生様すみません！――

ちなみに私はロングのクリーム色に紫のメッシュ。

顔立ちはよく整ってるって言われる。

「てかなんで突っ立てるんだ？マリカ！入るづけ――」

ナツがギルドのドアを開けた。

「おーナツ。マリカちゃん連れてきたのかー。」

「オーナー？やつぱり新しい仲間なの？」

「そーじゅよ。ルーシィ。わしの親友の孫じゅ。」

見渡す限り、フェアリー テイルのみんなは個性が凄そつ。

でも、みんな良い人そう..。見た目だけだけどね？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3596m/>

---

フェアリーテイル《最響伝説》

2010年10月10日16時12分発行